

今日も「一丁あがり」

第25話

あなたの心の「下町ロケット」に
火をつける！の巻



皆さん、こんにちは！ 米軍仕様
のアンダーシャツとユニクロの超極
暖ヒートテックの二枚重ねで、全身
ポカポカのロボストス高垣でございます。
まず、先日、どうしてもここで書いて
おきたい出来事が起きました。始
まりは、品質にこだわって作物を生
産されている農家さんからの「とあ
る特殊な農業機械の部品が廃番で手
に入らないのだけど、ロボストスで
修復できないか」という問い合わせ
でした。早速、現物を確認すると、
さすがに直せる状態ではなかったん
です。ふとこの部品ならどこかに新
品がありそうだなと思って、その部
品メーカーの関係会社をいくつか追
いかけたら、同型の新品在庫がある
ことがわかったんです!! ところ
が、電話で対応してくれた担当者か
ら届いたメールには「ロボストスの
ことを調べた。なんとか力になりた
い。でも商流のしがらみで出せない。
手元にある部品を出せないのが本当
に悔しい」という内容が綴られてい



写真1：復元したフロントアクセルスパイダ。この復元作業は本当に大変だったけど、ロボストスはやる！これでシバウトラクターV70Fは復活だ!!

ました。決まりならば仕方ないと諦
めて別の調達ルートを探し始めた
ところ、「発送致しました」という
一報が！ このメールには続きがあ
り、「これは会社を通さず致しまし
た。これまでのメールは削除してく
ださい。代金についてはいただきま
せん。個人間のお取引とさせていただきます。これから本格的な寒さがま
いますのでご自愛ください（原文マ
マ）」と。その翌日、本当に僕の手
元にその部品が届きました！ 慌て
て電話すると「今年もおいしい作物
ができた嬉しいですよ」と一言だけ。
マジのマジでアツすぎます!!



写真2：イチゴ収穫用の台車は使用する鋼材を見直して、荷重がかかる部分は強化した



写真3：「お母さんの作業負担を軽減させたい」というイチゴ農家さんの思いが伝わってきて、僕は燃えた

ものづくりの原点を忘れずに

本当に驚きましたけど、100%
実話です。最近では僕らの仕事に想
いを寄せて力を貸してくださる方が増
えています。特にディーラーの若手
メンバーに理解が深まってきたよう
に感じています。ということ、今
月は「作られなくなった」案件シリ
ズから、気持ちを含めて製作した問
題作をご紹介します♪
依頼内容は「シバウラV70Fトラ
クタのフロントアクセルスパイダが
破損して廃番です。作れますか？」
普通に考えたらまず作らないでしょ



高垣達郎（たかがき・たつろう）
1984年アメリカ生まれ、東京都大田区の町工場街で育つ。2011年に株式会社ロボストスを創業し、農林水産業機械のワンオフ対応を軸に、独自のサービスを構築。A-1グランプリ2011グランプリを受賞。群馬県を拠点に、機械メーカー・ディーラー・農協・農業生産法人など、全国的に取引を拡大している。株式会社ロボストス代表取締役社長。

う（笑）。製造業界広しと言えど、
積極的に復元しようとする業者はほ
ぼないと思います。でも求める人が
いるなら、なんとかするしかない！
ということ、一丁あがり〜〜〜♪
続いて、もう一丁いきましょ〜♪
12月のクリスマスと言えればイチゴ。
「20年以上前に購入した収穫台車が
老朽化したが、この形が便利なんだ。
でも重くて、年を取るにつれ体に負
担がかかってくる。同じ形状で軽量化
した台車を作ってくれないか？ 台
数が少ないって台車メーカーには断
られた」と。困っているイチゴ農家
さんの希望に答えて、現物の6割ほ
どの重さで一丁あがり〜〜〜♪
現場の声を聞いて、求められるモ
ノを形にしていこう。テレビドラマ
じゃないけど、それがものづくりの
原点だと思えます。僕らにできるこ
とはリスクと採算を厭わず喜ばれる
ものづくりを続けるのみ。というこ
とで！ 今日は二丁あがり〜〜〜♪